

平成29年7月1日

津市在宅療養支援センター開設

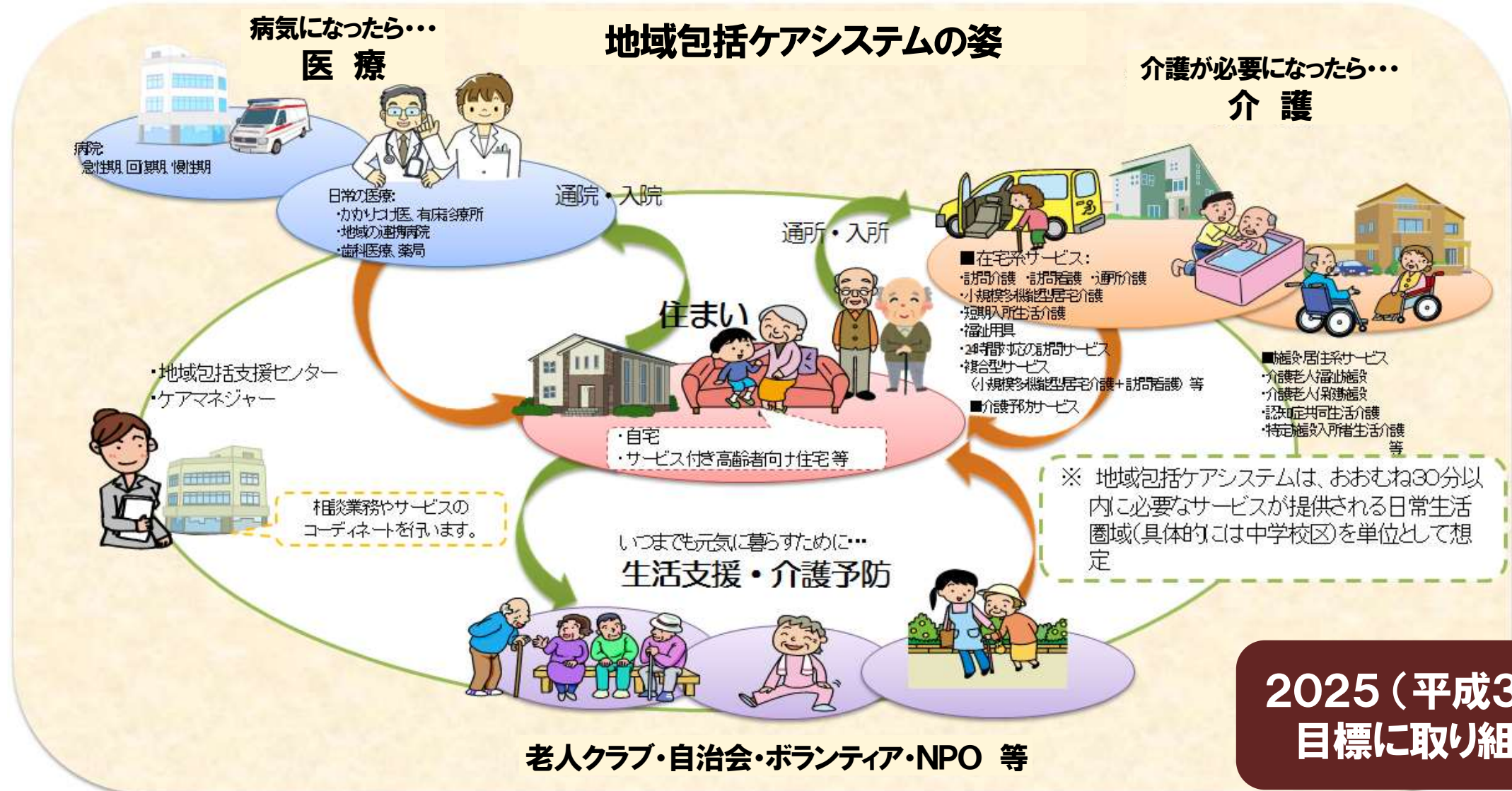
～地域包括ケアシステムの構築に向けて～



平成29年6月26日

地域包括ケアシステムとは

誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう
住まい・医療・介護・生活支援・介護予防が一体的に提供される体制



2025(平成37)年を
目標に取り組みます

**在宅医療・
介護連携**

地域ケア会議

認知症対策

**生活支援・
介護予防**

在宅医療・介護連携推進事業の8項目

地域の医療・介護の資源の把握

在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

医療・介護関係者の情報共有の支援

在宅医療・介護連携に関する相談支援

医療・介護関係者への研修

地域住民への普及啓発

在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

平成27年4月 介護保険法の一部改正

地域支援事業に**在宅医療・介護連携推進事業**の実施を義務付け
平成30年4月までに取り組みの開始が必要

平成28年8月

津市2医師会連絡協議会の
介護保険担当部会に**ワーキング会議**を設置

津市2医師会連絡協議会
介護保険担当部会ワーキング会議

2医師会＋津市

2医師会と津市の連携体制を構築し、
事業実施方法について検討 **7回開催**

協議・検討

地域包括ケア推進会議

津市

市関係各課が方向性について検討

25回開催

ワーキング会議・地域包括ケア推進会議の結果
事業全体の中核的な役割（センター機能）を担う機関が必要

- 津地区医師会・久居一志地区医師会に在宅医療・介護連携推進事業を委託
- 両医師会は、当該事業を推進していくため中核的な役割を担う機関を**共同で設置**することを決定

事業費 1,600万円（平成29年度予算）

平成29年7月1日 **津市在宅療養支援センター**を開設

津市在宅療養支援センターの概要

津地区医師会
久居一志地区医師会

開設場所

津市久居本町1400-2
久居一志地区医師会館2階

事業主体

津地区医師会
久居一志地区医師会

共同設置

開設日

平成29年7月1日(土)

センター長

津地区医師会 会長

副センター長

久居一志地区医師会 会長

相談員

医療・介護サービスの知識を持った
相談員を2名配置

保健師

看護師・介護支援専門員

名称の意味

医療と介護の連携だけでなく、在宅で療養する市民に寄り添う存在でありたい



津市在宅療養支援センターの役割

津地区医師会
久居一志地区医師会

- 医療・介護サービスが一体的に提供されるように医療・介護関係者の連携を支援
- 通院、入院から在宅療養に移行する人や医療機関からの相談対応

津市在宅療養支援センター

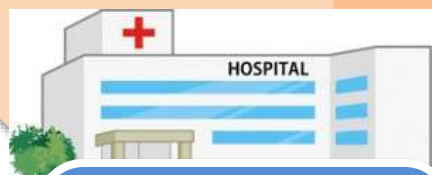


薬局



診療所

医療



病院



療養者



地域包括支援センター

介護



介護支援専門員



介護事業所

医療と介護のスムーズな連携 ▶▶▶ 住み慣れた地域での安心した生活

主な取り組み内容

津地区医師会
久居一志地区医師会

地域住民への普及啓発

- 在宅医療・介護サービスに関する普及啓発チラシの作成
- 市民を対象としたシンポジウムの開催



地域の医療・介護の資源の把握

地域の医療機関・介護事業所等の機能をまとめた資源マップの作成とホームページや冊子による情報提供

在宅医療・介護連携に関する相談支援

在宅で療養する市民や医療・介護・福祉関係者からの相談対応

医療・介護関係者への研修

医療・介護・福祉の関係者が参加するグループワーク研修会の開催



こんなときはぜひご相談を！

津地区医師会
久居一志地区医師会

家族に負担をかけないか
心配

利用者さんの希望がかなうような
医療サービスを教えてほしい

緩和ケアや看取りについて
相談したい

訪問診療してくれる
医療機関を教えてほしい

問い合わせ・相談先

津市在宅療養支援センター

〒514-1135 津市久居本町1400-2 久居一志地区医師会館2F

相談日 月曜日～金曜日(祝・休日、年末年始を除く)

時間 午前9時～午後5時

電話番号 059-255-1300

FAX番号 059-255-1350

E-mail tuzaitaku@zc.ztv.ne.jp



お気軽に
津市在宅療養支援
センター
にご相談ください！

津市・上富良野町友好都市提携20周年 記念事業を実施



平成29年6月26日

上富良野町と津市の歴史的なつながり

明治30年 開拓団の移住

三重県安濃郡安東村(現:納所町)出身の田中常次郎をはじめとする三重団体一行が、現在の**上富良野町**へ移住し開拓

大正15年5月24日 十勝岳大噴火からの復興

十勝岳大噴火により壊滅的な被害を受けた上富良野村(現:上富良野町)を、当時村長だった河芸郡一身田村(現:一身田町)出身の吉田貞次郎が災害復旧事業を行い、わずか数年で水田をよみがえらせた

昭和53年に、上富良野町教育委員会が「**上富良野町郷土館**」を建設するに当たり、史料調査のため旧津市を訪問

平成4年ごろから行政間、議会間の相互訪問も始まり、友好都市提携に向けての機運が一気に高まる

平成9年7月30日 **上富良野町開基100周年の年** に
旧津市と上富良野町との間で友好都市提携を締結し交流をスタート

津市・上富良野町友好都市提携20周年記念事業について

友好都市提携から20周年を迎え、
3つのカテゴリーに分けて記念事業を展開

市民交流

津市民団が
上富良野町を訪問

上富良野町民訪問団
が津市に来訪

上富良野西小学校の
児童が安東小学校
を訪問

記念事業

20周年記念パネル展
を開催

津図書館に
上富良野コーナー設置

ボートレース津にて
「GIII津オールレディース
上富良野町友好都市
20周年」を開催

経済交流

株式会社横山食品(津市)
による上富良野町産
大豆活用プロジェクト

三重テラス“つデイ”で
津市・上富良野町の
友好都市展を開催

津市長と津市民団が上富良野町を訪問！

津市長

7月15日^土～17日^{月・祝}

友好提携の将来的な継続を確認するとともに、上富良野町が実施する各種記念事業に参加

【主な参加行事】

- 津市長と上富良野町長のトークショー
- 株式会社横山食品による上富良野町産大豆を使用した新商品の紹介
- 津市民団歓迎交流会
- 上富良野町内開拓記念館、十勝岳望岳台など訪問(津市民団と合流)
- 花と炎の四季彩まつりに参加し、あんどんの優秀作品表彰式にて「津市長賞」を贈呈

津市民団

7月15日^土～16日^日

津市と上富良野町の歴史的なつながりを多くの市民に知っていただくため、津市民団21名が上富良野町を訪問。現地の開拓記念館を訪問し、開拓の歴史を見る機会を設けるとともに、十勝岳など大自然とともに生きる町の姿を視察



※津市民団の全日程は、7月15日～18日(3泊4日)

市民交流② 10月

上富良野町長と上富良野町民訪問団が津市に来訪！

10月7日^土 ~ 8日^日

- 上富良野町長、教育長ならびに上富良野町民訪問団約20名が津市に来訪
- 市内の上富良野町ゆかりの地(一身田寺内町 専修寺など)を視察するほか、津まつりの総おどりに参加



20周年記念パネル展を開催

開催期間 7月26日 **水** ~ 30日 **日**

場所 津リージョンプラザ生活文化情報センター

上富良野町の風景パネルに加え、十勝岳の大噴火からの復興に取り組んだ上富良野町が舞台の、三浦綾子の小説「泥流地帯」のパネルも展示

安東小学校と上富良野西小学校の姉妹校交流事業

開催期間 7月27日 **木** ~ 29日 **土**

上富良野西小学校から児童16名が安東小学校を訪問し交流

- 津の海でモーターボートに体験乗船
- 三重県立博物館MieMuを訪問 など

上富良野コーナーを設置

設置期間 6月30日 **金** ~ 7月26日 **水**

場所 津図書館

上富良野町に関する図書を集めた「上富良野コーナー」を設置

ボートレース津 上富良野町協賛レースを開催

設置期間 9月19日 **火** ~ 24日 **日**

上富良野町協賛「GIII津オールレディース
上富良野町友好都市20周年」を開催

- かみふらの十勝岳観光協会が物産ブースを設置（23日・24日）
- 優勝決定戦の表彰式（24日）のプレゼンターに上富良野町長が登場

三重県首都圏営業拠点「三重テラス」 “つデイ”で友好都市展を開催！

10月25日 **水**・26日 **木**

- 津市と上富良野町の歴史的なつながりを示すパネル資料の展示や、両地域の地域資源の紹介
- 株式会社横山食品の上富良野町産大豆製品を展示

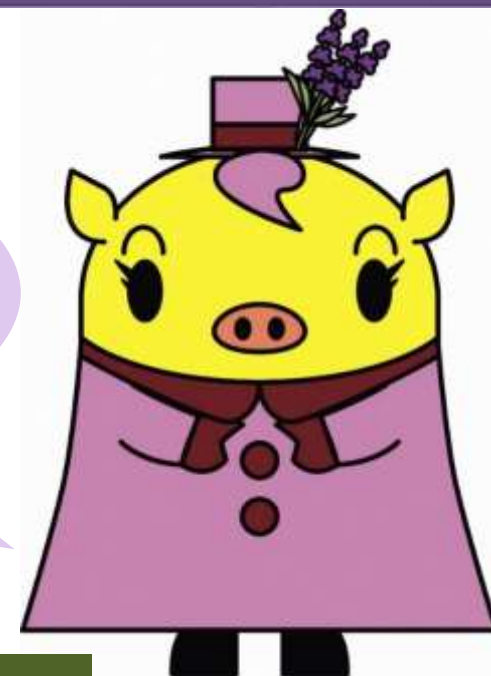
東京日本橋で、両地域のつながりをアピール！



お問い合わせ先



津市 と 上富良野町
これからもずっと仲良し！



お問い合わせ先

津市市民部市民交流課

電話 059-229-3102

ファクス 059-227-8070

E-Mail 229-3252@city.tsu.lg.jp